

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 <b>ハニーバジャー・ダークアウト</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.530</b>	△RG <b>0.050</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ハニーバジャー・ダークアウト**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

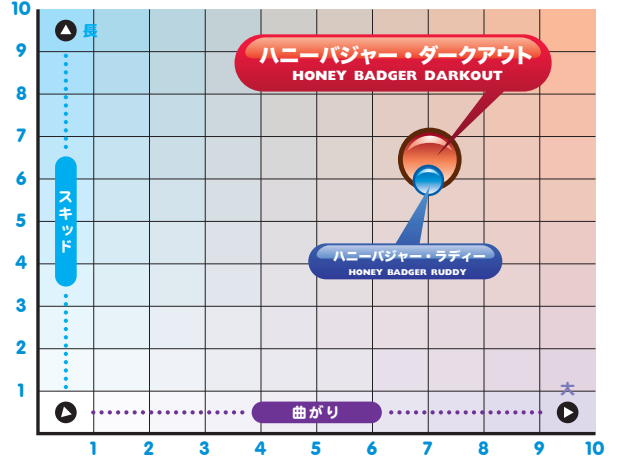
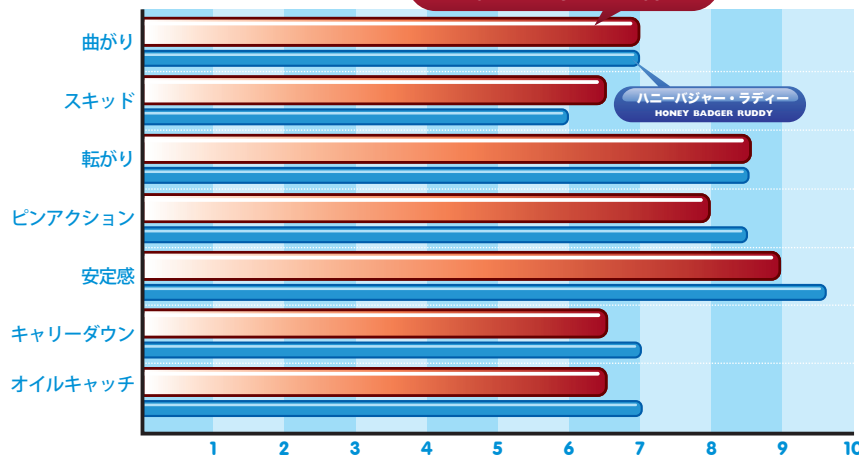
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：ハニーバジャー・ラディー**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



## ボールの評価

「走りと切れ」という言葉は、HONEY BADGERシリーズがボウリング界で積み上げてきたひとつの答えです。直進性能と鋭いバックエンドリアクションを武器に多くのボウラーから支持を集めてきたこのシリーズに、最新作が加わりました。HONEY BADGER DARKOUTは、シリーズの持ち味をそのままに、扱いやすさと対応幅をさらに高めた進化モデルです。コンセプトは「レーン手前の走り」と「バックエンドの角度」の完全な両立。そのために選ばれたのが、新開発の「RB70E Pearl」と「Grapnel 2.0 A.I. Core」の組み合わせです。本作最大の注目点は、RB70E Pearlカバーストックの搭載にあります。従来のHONEY BADGERシリーズが持つ長いスキッド性能を維持しながら、摩擦への反応をより自然にコントロールすることで、過度な暴れを抑えた安定感のある動きを実現しています。近年のハウスコンディションでは手前のオイルが減少しやすく、強いボールでは早く反応し過ぎるケースも少なくありません。その課題に応えるように、本作はレーン手前を軽快に通過しながら、エネルギーを十分に温存してブレークポイントまで運ぶことができます。コアには、HONEY BADGERシリーズの象徴とも言えるGrapnel 2.0 A.I. Coreを搭載。レーン前半では無駄な回転消費を抑え、バックエンドから鋭く方向転換します。さらにA.I.テクノロジーの採用によってピンアクション性能も向上し、走り系ボールでありながら力強いピン飛びを生み出します。テストングを重ねた実感として、この軽快さと破壊力の共存は、現在のABSラインナップの中でも際立った個性と言えるでしょう。HONEY BADGERシリーズはモデルを重ねるごとに、「走るだけでなく、しっかり戻ってくる」という評価を確立してきました。DARKOUTはその哲学を継承しながら、現代のレーン環境に合わせて再構築された一作です。スキッド&スナップ系の挙動が最も機能するのは、レーンが削れてきたリーグ後半戦やミディアム～ライトコンディション。そこで、このボールは持ち前の性能を最大限に発揮します。

## 特記事項

レーン変化への対応力を求める競技ボウラーにとって、現代のコンディション事情に合わせて再構築されたHONEY BADGERの現時点での完成形です。強さだけでは測れない走りの質とバックエンドの鋭さ、そして確かなピンアクション。それこそが、本作最大の魅力と言えるでしょう。